

2022年3月16日23:36に発生した福島県沖地震の被害状況速報(その1)

2022年3月22日 地盤品質判定士 原 勝重

令和4年3月16日23時36分に福島県沖(北緯37度41.8分, 東経141度37.3分, 震源深さ57km)を震源とするマグニチュード7.4の地震が発生しました。この地震による震度は、震度6強の強いものでした。震度6強は、登米市、蔵王町、相馬市、南相馬市、国見町で観測されました。郡山市は震度5強でした。K-net, kik-netの観測データからの最大加速度は、川崎1233gal, 山元1007gal, 梁川778gal, 三春775gal, 相馬745gal, 北上738gal, 飯館712gal, 牡鹿708gal, 船引664gal, 原町629galなどとなっています。福島県においては震度6強であった国見町に近い梁川で778galとなっています。この付近の阿武隈川に架かる伊達橋、伊達崎橋、昭和大橋が損傷して通行不能になっています。

谷埋め盛土では本宮市のみずきヶ丘団地で亀裂が確認されました(写真-1参照)。国見インターを出たところの新幹線高架橋が傾いています(写真-2参照)。新幹線の被害箇所は1000か所に及んでいるとのことです。さらに、国見町の人家の瓦が落ちており、国道4号沿いの建物が傾斜して倒壊の恐れがあります(写真-3参照)。その他、郡山市のビックパレットでも施設の損傷が確認されています。今後、さらに詳細な被害が報告されてくると思います。



写真-1 本宮市みずきヶ丘団地の谷埋め盛土箇所の変状
(東日本大震災において変状した箇所でもある)



写真-2 国見インターを出てすぐの新幹線高架橋の傾斜
(東北新幹線では、1000か所の損傷が確認された)



写真-3 国見町の国道4号沿いの人家の屋根瓦の落下とビルの傾斜(転倒の危険有り)